

中小企業景況調査の集計分析（2021.1～3月期）

全産業DI	全 国（n：約8,000社）			河辺雄和（n：15社）		
	DI	前期比	天気図	DI	前期比	天気図
売上額	△48.9	+0.1		△73.3	0	
採算	△42.5	+0.5		△40.0	+13.3	
資金繰り	△28.4	-1.8		△53.3	+16.4	

全国の分析コメント

出典：全国商工会連合会「中小企業景況調査報告書」

- 全業種** △ 売上額と採算はほぼ横ばい。資金繰りはやや悪化している。
 ○ 資金繰りDIは他指標より水準が高く、政府による中小企業資金繰り支援策は、一定の効果をもたらしているといえる。
 △ 売上額DIでは、業種によって明暗が分かれた。
 ※ 資金繰り支援にとどまらず、業態転換や新規設備投資等への支援も含め、今後も継続的な中小企業対策が求められよう。
- 製造業** ○ 中国・米国の生産回復の本格化により、輸送機械器具製造業が上昇するなど製造業全体で大幅改善となった。
 ○ 金属製品製造業、一般機械器具製造業など輸出依存の高い加工型産業も改善が顕著。
 △ 繊維工業など内需型製造業は落ち込んでいる。
 △ 全体では大幅に改善したが、コロナ禍以前より20ポイント近く低く、回復は道半ば。
- 建設業** ○ 小幅ながら3期連続の改善。
 △ 経営上最大の問題点において、一部で「人手不足感」が浮上している。
 ○ 4業種の中で水準が最も高く、大規模業態を中心に需要が緩やかに回復しつつある。
- 小売業** △ 長期的な低迷を脱していない。
 △ 経営上の最大の課題では、構造的な要因※の指摘が4割あり、深刻な実態が垣間見える。
 ※ 構造的な要因…消費者ニーズの変化、大型店等の進出による競争の激化等
- サービス業** △ 宿泊業と飲食業の2業種の水準はマイナス80を下回る深刻な状態に陥った。
 △ 新型コロナウイルス感染拡大、それに伴う緊急事態宣言の影響が直撃した格好。
 ○ 運送業など、巣ごもり需要の拡大を反映し大幅に改善した業種もある。
 △ サービス業全体としては大幅な悪化。

= 天気図の解説 =

				
DI30以上	DI10以上 30未満	DI△10以上 10未満	DI△30超 △10未満	DI△30以下

(注) DI（景気動向指数）は、各調査項目について増加（好転）企業の割合から減少（悪化）企業の割合を差引いた値を示す。